

(別紙)

松江市障がい福祉分野の介護ロボット等導入支援事業
事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン シラユリカイ
法人名	社会福祉法人 しらゆり会
フリガナ	ショウガイシャエンセンセツ キボウノソ
事業所名	障がい者支援施設 希望の園
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」÷「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、退職は除く)】	
10.7 人	

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別：☒ 移乗介護 ☒ 排泄支援 ☒ 入浴支援
☐ 移動支援 ☐ 見守り・コミュニケーション ☐ 機能訓練支援 ☐ 栄養管理支援

機器名(導入台数) 移乗サポートロボット Hug(ハグ) T1/T1-02 (1台)

(2)ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	11 人	1,969 件	23,628 件	7 分	30,323 人時間	251 時間
	2 排泄介助・支援	11 人	3,355 件	40,260 件	8 分	59,048 人時間	488 時間
	3 生活自立支援(※1)	11 人	7,015 件	84,180 件	98 分	1,512,434 人時間	12,499 時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	11 人	1,105 件	13,260 件	25 分	60,775 人時間	502 時間
	5 その他の直接介護	11 人	4,826 件	57,912 件	16 分	169,875 人時間	1,404 時間
間接業務	6 巡回・移動	11 人	183 件	2,196 件	20 分	8,052 人時間	67 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	11 人	82 件	984 件	45 分	8,118 人時間	67 時間
	8 見守り機器の使用・確認	11 人	90 件	1,080 件	2 分	396 人時間	3 時間
	9 その他の間接業務	11 人	31 件	372 件	30 分	2,046 人時間	17 時間
			18,656 件	223,872 件	251 分	1,851,067 人時間	15,298 時間

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

・入眠起床支援 起床時・日中(2回)・夕・就寝時 30.5日
・利用者コミュニケーション 30人×30.5日
・訴え 30人×5.5回×30.5日
・日常生活 30人×30.5日

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

・徘徊4件 145分＋不潔行為4件 60分＝205分÷8件＝25分

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	11 人	1,535 件	18,420 件	6 分	20,262 人時間	167 時間
	2 排泄介助・支援	11 人	3,020 件	36,240 件	8 分	53,152 人時間	439 時間
	3 生活自立支援(※1)	11 人	6,558 件	78,696 件	96 分	1,385,050 人時間	11,447 時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	11 人	630 件	7,560 件	23 分	31,878 人時間	263 時間
	5 その他の直接介護	11 人	5,019 件	60,228 件	11 分	121,460 人時間	1,004 時間

間接業務	6 巡回・移動	11 人	244 件	2,928 件	15 分	8,052 人時間	67 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	11 人	74 件	888 件	40 分	6,512 人時間	54 時間
	8 見守り機器の使用・確認	11 人	90 件	1,080 件	2 分	396 人時間	3 時間
	9 その他の間接業務	11 人	31 件	372 件	30 分	2,046 人時間	17 時間
			17,201 件	206,412 件	231 分	1,628,807 人時間	13,461 時間

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

・日誌30.5日×2＝61件 ・ケース記録8件 ・イベント計画等2件 ・予定表作成3件 合計74件

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

・日誌20分 ・ケース記録60分 ・イベント計画等30分 ・予定表作成30分
・(20分＋60分＋30分＋30分)÷4件＝35分連絡調整業務を含め平均40分

年間業務時間数想定削減率(%)

12.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

年間業務時間数想定削減率が20%未満のため記載なし。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

移乗サポートロボットの導入により、利用者の移乗、立位の保持時の介助が行いやすくなり、職員の身体的負担が軽減した。
また、利用者の移乗時に見られていた身体の緊張や力みが軽減し安全かつ安心して介助を実施できるようになった。

(5)今後の課題

職員全員がロボット機器を効果的に活用できるよう継続して操作方法の練習を図るとともに利用者の身体状況に応じた活用法を検討し、安全で質の高い支援の提供につなげていく。

(6)気づき等について

ロボット機器の活用により、移乗介助時の職員の身体的負担軽減だけでなく、利用者の安心感の向上にもつながることを実感した。
一方で、利用者の状態によっては従来の介助方法が適している場合もあり、利用者ごとの適切な使い分けが重要であると感じた。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円／月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

ロボット機器を活用し、安全な移乗介助及び入浴支援等を実施するとともに、利用者の身体状況に応じた介助方法を検討し、安心して生活できる環境づくりに取り組んだ。 また、職員間で使用方法や介助方法を共有し、介護技術の向上に務めた。